

第4次総合計画改訂版素案に対する意見（第1部会 R5.6.15開催）への回答

大綱6 都市形成

政策1 みどり豊かで安全・快適な都市空間づくり

政策2 安全・快適な都市を支える基盤づくり

第4回総計部会	
資料5	R5.7

No.	委員意見		所管室課意見・修正案	所管室課名
	該当箇所	意見		
1	施策6-2-1	「街路樹」の再整備と入れた経緯、理由、背景について教えてほしい。また、施策に入れるのであれば、施策指標の設定を考えてどうか。道路の維持管理は住民主体で行っていく部分もある。その辺りも踏まえて検討してほしい。	<p>・「街路樹の再整備」については、市民参画による意見で、歩道の安全性について多くの声があり、歩道の幅員が狭いところをピックアップして街路樹の撤去や植え替えをしようと考えているために追記したものです。根が上がって歩道の安全性が確保できていないところや、大径木化や高齢木化等により良好な街路樹景観の維持が困難な路線が対象です。現在、令和5年度中の計画策定に向けて、現地調査をしながら進めております。</p> <p>・「施策指標」については、まだ具体的な手法の検討に至っていないことや、再整備が必要な路線数も決まっていないため、指標を設定することはできませんが、必要であれば個別計画の中で指標の設定も視野に入れたいと考えております。</p> <p>・「道路の維持管理」については、地元自治会等が、吹田市が管理する道路の一定区間を清掃や緑化等のボランティア活動を通じて美化していただくことで、きれいな道路づくりを行政と協働で推進する「すいた里親道路制度」があり、現在、約49団体が活動しております。</p>	道路室
2	施策6-2-2	「より効果的な調査、点検等」とは具体的にどういったものか。画像認証やAIによる調査などを取り入れている市もあると聞く。技術職の採用も難しい中、老朽化は進んでいくため、そういった手法の議論もしていただきたい。	<p>管路等の水道施設に対し必要な点検・調査は定期的に行っていますが、技術の進歩や事故を契機に方法等の検討・見直しが必要となります。最近では、和歌山市の水管橋の崩落事故を受けて国がガイドラインを改定しており、そういったことを踏まえて今まで以上の調査・点検を検討していきたいと考えています。水管橋は主に目視による点検を行っていますが、他の手法についても担当部署で検討しているところです。</p>	水道部企画室
3	施策6-2-3	「官民連携」とは外部委託を意味するのか。	<p>外部委託を意味しています。技術職の確保も難しくなる中、民間にお願いできることは委託していくと、下水道経営戦略にもお示しています。</p>	下水道部経営室